

避難所の運営

目的

- 重要なメッセージを効果的に正しく伝える方法を学ぶ

緊急事態カルタ

前回紹介した役立つ表現を復習し、これらが使われるシナリオを話し合おう。

1. 大丈夫です。
2. 誰か_____を持っていませんか？
3. _____がわかる人はいますか？
4. 名前は何ですか？
5. (自分に)手を貸してもらえませんか？
6. _____ (他人)を助けてください。
7. ちょっと待ってください。
8. 痛みますか？
9. _____がありました。
10. _____はわかりますか？
11. 安心してください。
12. _____がなくなりました (いなくなりました)
13. 気をつけてください。
14. _____です/ます (状態を表す)
15. 身動きできません。
16. _____はどこですか？
17. 落ち着いてください。
18. _____できますか？
19. ここです。
20. 注意して。
21. 急いで。
22. _____が必要です。
23. _____を呼んでください/電話してください。
24. 助けて。

*前回の配布資料を参照

避難所での質問／問題（口頭でのやりとり）

1. 3人組になります。
2. 各グループに避難所できかれる可能性のある質問や問題が書かれたカードを1枚ずつ配ります。
3. その質問／問題についてグループで話し合い、どのように対応するかを考えます。

災害関連情報（文章でのやりとり）

1. 3人組になります。
2. 各グループに日本で書かれた災害関連情報を配ります。
3. 情報をどのように英語で伝えるか、2パターンずつ考えて記します。

・シンプルなお知らせ

1. 本日の花巻空港発着のすべてのフライトはキャンセルになりました。
2. 給水車は12時頃に来ます。容器をご持参ください。
3. 自宅に戻る場合や外出する場合には必ず受付へお知らせください。
4. 公衆電話は、ひとり1分程度ずつ、譲り合ってご使用ください。
5. 病人・けが人や体調が優れない人がいる場合は、本部の救護班に知らせてください。
6. 今日、午後4時ごろ、道の駅裏付近でクマが目撃されています。付近の方は、十分ご注意ください。

災害関連情報（文章でのやりとり）

• 難しい内容のお知らせ

1. 今日は、風が強く吹いております。火災が発生しますと大火になる恐れがありますので、どちら様も、火の取り扱い、後始末には十分ご注意ください。火の用心をお願いします。
2. 5月8日、釜石市大字平田第8地割、尾崎白浜地区で発生した林野火災は、本日午後1時に鎮圧状態となりました。鎮火には至っておりませんので、今後の情報にご注意ください。
3. 本日、釜石市内では気温が上昇する見込みです。こまめな水分や塩分の補給を心がけ、熱中症には十分注意しましょう。熱中症は室内でも多く発症しています。特に乳幼児や高齢者のいるご家庭は、扇風機やエアコンを活用し、熱中症の予防に努めましょう。
4. 北朝鮮から発射されたミサイルは、午前7時16分頃襟裳岬の東約2000kmに着水した模様です。今後の情報に注意するとともに、不審なものを発見したら決して近寄らず、直ちに警察、消防または海上保安部に連絡してください。
5. 台風による大町地区冠水のため、大渡バス停～天神町バス停の間は通行可能となるまで、バイパスを迂回運行します。また、大槌川流域避難指示発令のため、広域路線は避難指示が解除されるまで運休となります。
6. 26日10時現在、大船渡市内約5000世帯で断水が続いています。復旧の目途は立っていません。



CPR/AED/Ambulance

Lesson 2 will be dedicated to CPR/AED and ambulance communication by inviting fire station rescue staff. Read the following steps well, look up words and remember them to prepare for the training.

CPR/AED Steps

The following steps are based on the American Red Cross instructions. Read well, look up words and remember them to prepare for the training in the next class.

Before Giving CPR

1. Make sure the scene is safe. Tap the person on the shoulder and shout “Are you OK?”
2. Ask a bystander to call 119 and send someone to get an AED.
3. Open their airway (tilt their head back slightly to lift their chin).
4. Check for breathing. If they are not breathing, begin CPR.

Giving CPR

1. Place your hands, on top of each other in the middle of the recipient’s chest. Use your body weight to perform chest compressions at a rate of 100 compressions per minute.
2. Deliver rescue breaths. Pinch their nose closed and cover the person’s mouth with your mouth to create a seal. Blow into the person’s mouth to make their chest rise.
3. Continue cycles of 2 breaths and 30 compressions.

Using an AED

1. Keep performing cycles of chest compressions and rescue breaths until the person shows signs of life (like breathing), or an AED or professional help arrives.
2. Turn on the AED.
3. Wipe the chest dry and attach the pads to their bare chest.
4. Make sure no one, including you, is touching the person.
5. Tell everyone to “Stand Clear!”
6. Push the analyze button if necessary, let the AED analyze the heart rhythm.
7. If AED advises you to shock the person, repeat 4 and 5.
8. Push the “shock” button.